

2019年9月

なかまのみなさんへ

高教組執行委員長
福元勇司

「学校の働き方改革を考える」特別分科会へのご参加のお願い

これまでの学校教育は、教育への情熱や使命感という教職員の献身的なとりくみによって成り立ってきました。学校や教職員が、子どもや保護者、地域社会からの様々な期待に応える中で教職員は、慢性的に長時間勤務になっていました。それは、文科省による「教員勤務実態調査」や県教育委員会による「教職員の業務の効率化に関する実態調査」等で明らかであり、文科省の「学校基本調査」による教職員の病気休職者数は看過できない深刻な状況を呈しています。

このような中、教職員が日々の生活の質を向上させるとともに教職人生を豊かにし、本来の職務を遂行していくためには、教職員自らが心身ともにゆとりをもって健康で児童生徒に向き合うための時間と専門性を高めるための研修の時間を十分に確保できることは喫緊の課題です。

高教組は、2019年3月に発出された文科省事務次官通知「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」を踏まえ、学校における働き方改革の推進には関係各位との「社会的対話」を通して連携し、保護者や地域住民等の理解・協力を得ることが不可欠だと感じています。

つきましては、「学校における働き方改革」をテーマに保護者や地域住民、教育関係者を一堂に会しての対話集会を計画しました。

多忙だからこそ改善のためのあなたの行動が必要です。是非とも集会に参加して学校の実態を訴えて下さい。

記

集会名：高教組 2019年教育研究中央集会、特別分科会「教職員の働き方改革」
日 時：10月12日（土）10時半～12時半
場 所：名護商工高校 視聴覚教室

以上